

カキ生育情報

千葉県
平成22年5月号

【3, 4月の気象】

平成22年4月の半旬別の気象は表1に示した。

- [3月] 日平均気温は第1、第3、第4半旬で平年に比べ2.1~2.5 高く推移し、平年を大きく上回った。また第2、第5、第6半旬では、平年に比べ1.2~4.2 低く推移し、平年を大きく下回るなど気温の変化が非常に激しかった。月平均気温は9.0 で、平年より0.2 低かった。降水量は第3及び第6半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。月合計は211mmで平年より27mm(15%)多かった。日照時間は第3、第4、第6半旬で平年を上回ったが、月合計は130時間で、平年より24時間(16%)少なかった。
- [4月] 日平均気温は、第1半旬を除く全ての半旬で平年に比べ0.8~4.2 低く推移し、平年を大きく下回った。月平均気温は12.0 で、平年より1.9 低かった。3月下旬から引き続き、気温はかなり低く推移した。降水量は、第2半旬を除く全ての半旬で平年に比べ多かった。月合計は309mmで、平年より139mm(82%)多かった。日照時間は、平年に比べ第6半旬を除く全ての半旬で少なかった。月合計は125時間で、平年より41時間(25%)少なかった。本年は平年に比べ曇雨天の日が著しく多かった。

表1 平成22年3月及び4月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量 mm		日照時間 hr	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
3月	1	9.8	7.5	15.7	12.1	5.5	3.0	36	23	16	26
	2	6.6	8.2	9.7	12.8	3.0	3.4	62	22	7	26
	3	11.2	8.7	15.4	13.2	5.4	4.2	0	30	37	25
	4	11.5	9.4	14.9	13.9	7.2	4.9	22	21	26	24
	5	8.8	10.0	12.0	14.1	4.1	5.7	90	46	14	24
	6	6.6	10.8	10.6	15.0	2.5	6.4	1	42	30	29
合計/平均		9.0	9.2	13.0	13.5	4.5	4.7	211	184	130	154
4月	1	12.5	11.7	16.8	16.1	7.9	7.0	98	26	11	25
	2	11.6	13.2	16.1	17.4	6.5	8.8	7	27	25	27
	3	11.9	13.6	16.9	17.6	7.9	9.0	59	27	14	27
	4	10.2	14.1	13.8	18.3	7.0	10.0	60	35	17	28
	5	10.9	15.1	15.1	19.3	6.9	11.0	54	34	25	29
	6	14.8	15.6	18.7	19.9	10.8	11.4	32	21	33	30
合計/平均		12.0	13.9	16.2	18.2	7.8	9.6	309	170	125	166

【樹の生育】

暖地園芸研究所では、3月下旬以降の低温、日照不足など天候不順が続いたため、5月1日現在平年に比べ、樹の生育は数日~1週間程度遅れている。3月上中旬は気温が高かったため、発芽日は西村早生が3月17日、松本早生富有が3月16日、富有が3月19日で、生育の早かった昨年とほぼ同様、平年に比べ9~14日早かった。しかし、その後急激に気温が低くなった影響で、いずれの品種も生育は非常に緩慢となっている。また、強風により、新梢の枝折れや新葉の傷害が目立っている。

本年は、不成り年と予想される。特に、昨年着果過多の園では予想以上に着蓄量が少なくなっている。暖地園研では、着蓄量は西村早生で平年並～やや少、松本早生富有は少、富有はやや少で、全体に着蓄量が少ない。現在、病害虫の発生はほとんどない。

いすみ市では、西村早生の樹の生育はほぼ順調である。

表2 発芽日(平成22年)

品 種	調 査 地	発芽日(月・日)		
		本年	前年	平年 ¹⁾
西村早生	いすみ市	-	3.25	-
	暖地園研	3.17	3.16	3.26
松本早生富有	市原市	-	-	-
	暖地園研	3.16	3.18	3.30
富 有	暖地園研	3.19	3.20	3.31

注1)暖地園芸研究所における平成2年から20年間の平均値。

【5～6月の作業の要点】

摘蕾と受粉

本年は着蓄量が少ないので、樹全体で目標とする必要着果数を確保するように摘蕾を行う。着蓄量が非常に少ない場合は、摘蕾しない方がよい。樹の生育や樹勢バランスを保つためには、小花なども全て摘除せず、残した方がよい。原則として摘蕾は、開花7～10日前の期間(5月上中旬)を目安に、1結果枝当たり1蕾を残すように行う。母枝先端付近の生育の良い長い結果枝では、2蕾残してもよい。結果枝中央部のものか、基部から数えて2～3番目の充実した健全なもので、横向きでヘタが大きく、果梗の太い蕾を残し、それ以外の蕾は摘除する。5葉以下の結果枝の蕾は全て落とす。目標とする着果量に対して、松本早生富有、富有では1.2倍、西村早生では洪果対策のために、1.5倍の蕾を残す。

残した花蕾に対しては、人工受粉を確実に行う。受粉は開花直後が望ましいが、花は開花後3日までは十分受精能力があるので、開花始めから満開後にかけて、数日おきに丁寧に行う。

枝管理

副芽や不定芽の発生が多いと、枝葉が込み合うため、生育バランスを崩し、病害虫の発生を助長する。副芽は全て摘除し、不定芽は、来年の結果母枝となる予備枝として必要なもの以外は摘除する。なお、大きな切り口付近の不定芽は、傷口保護のため、弱めの枝を2、3本残す。

病害虫防除

開花直前の5月中旬は、炭疽病、黒星病、落葉病の予防時期及びスリップス類、カイガラムシ類、ケムシ類の防除時期である。また、6月上中旬には、炭疽病、落葉病とカキヘタムシの防除時期となる。西村早生では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。うどんこ病の発生が多い園では、うどんこ病の防除を同時に行う。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 TEL 0470 22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>